

高校教育に関する意識調査報告書  
第 2 回県立高校の将来の在り方検討委員会 資料用抜粋版

「第 7 次山形県教育振興計画」期間中の県立高校の在り方についての検討の参考とするため、本県の公立の中学生・義務教育学校及びその保護者、県立高校生及びその保護者、公立中学校・義務教育学校・県立高校の教員に対して、Web による回答方式のアンケート調査を実施した。

## 1 調査内容

○アンケート期間 令和 5 年 9 月 1 1 日（月）～ 2 6 日（火）

○アンケート対象と回収数

| 対 象                      | 対象数   | 回答数   | 回答率   |
|--------------------------|-------|-------|-------|
| 中学校 3 年生・義務教育学校 9 年生     | 3,694 | 2,495 | 67.5% |
| 中学校 3 年生・義務教育学校 9 年生 保護者 | 3,687 | 1,104 | 29.9% |
| 高校 1 年生                  | 2,941 | 1,748 | 59.4% |
| 高校 1 年生 保護者              | 2,952 | 1,291 | 43.7% |
| 中学校・義務教育学校 教員            | 2,115 | 1,029 | 48.7% |
| 高校教員                     | 1,900 | 917   | 48.3% |

○前回調査（平成 25 年）回答数

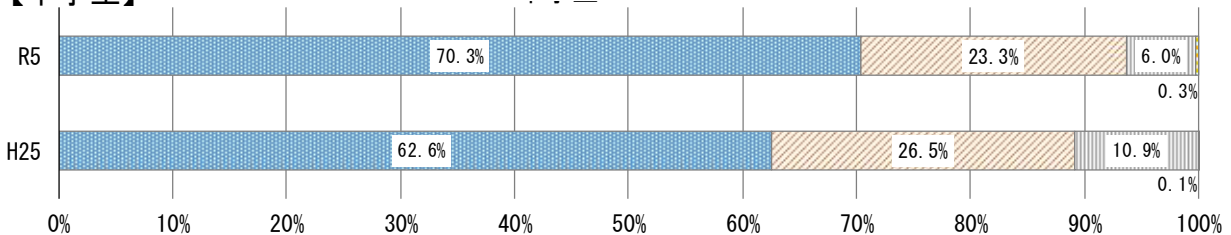
| 対 象          | 回答数   |
|--------------|-------|
| 中学校 3 年生     | 1,732 |
| 中学校 3 年生 保護者 | 1,616 |
| 高校 3 年生      | 1,739 |
| 高校 3 年生 保護者  | 1,589 |

## 2 学習したい学科

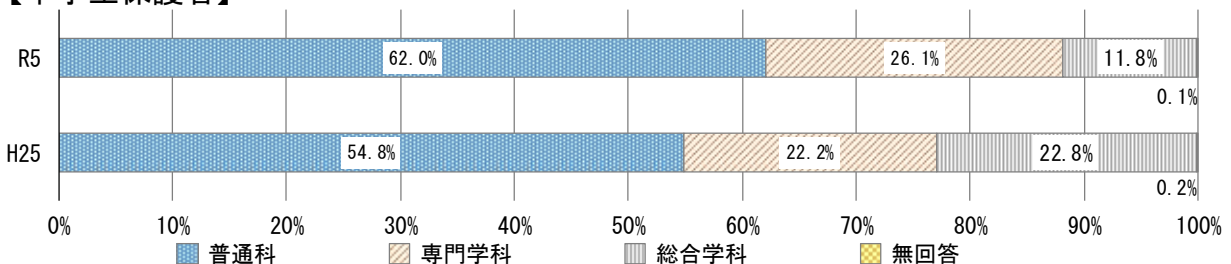
○中学生が希望する高校の学科は、普通科：専門学科：総合学科が概ね 7：2：1。

○前回調査より、普通科の希望の割合が増加、中学生保護者は専門学科の希望が増加し、総合学科が減少。

【中学生】



【中学生保護者】

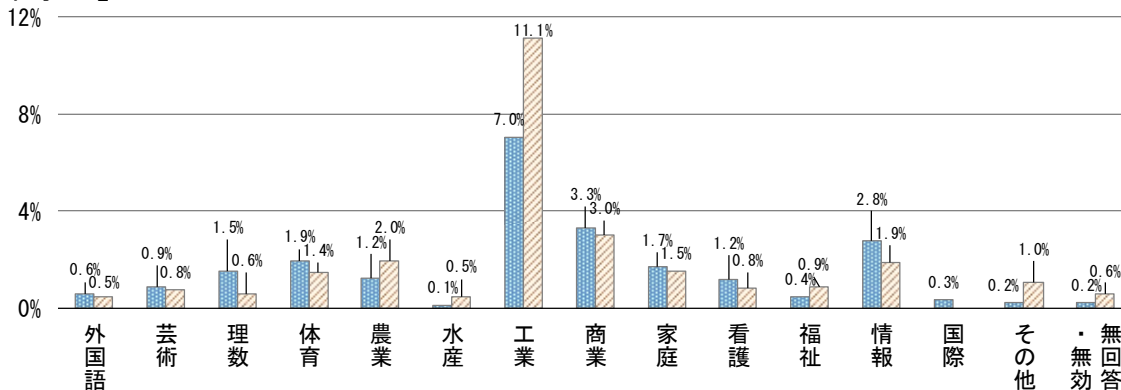


### 3 学習したい専門学科

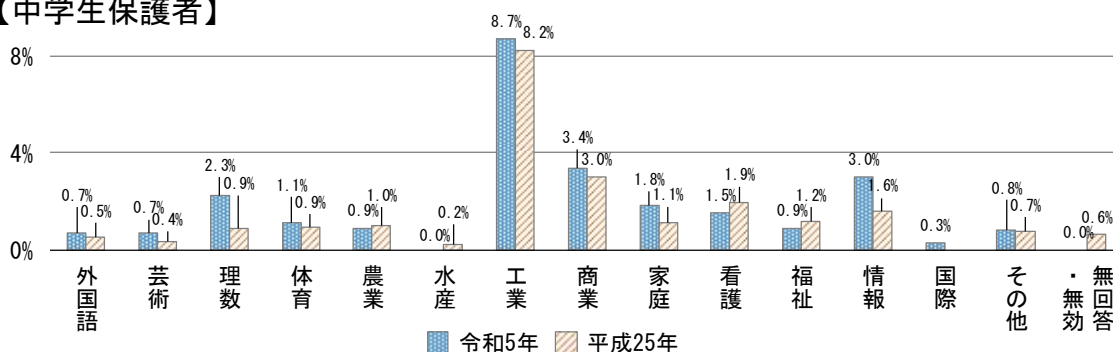
○専門学科を希望する中では、中学生、中学生保護者とも工業科への進学希望が最多。

○前回調査より中学生は工業科を志望する生徒が多いが割合は低下。商業科と情報科の割合は微増。中学生保護者は、工業・商業・家庭が微増し理数科と情報科が大きく増加。

#### 【中学生】

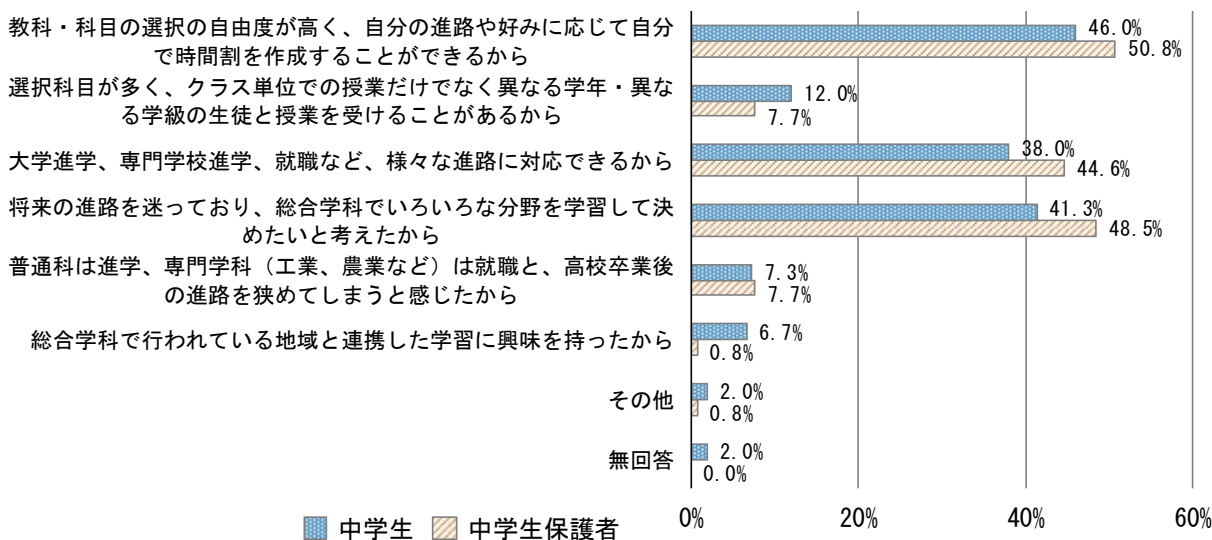


#### 【中学生保護者】



### 4 総合学科の学習について

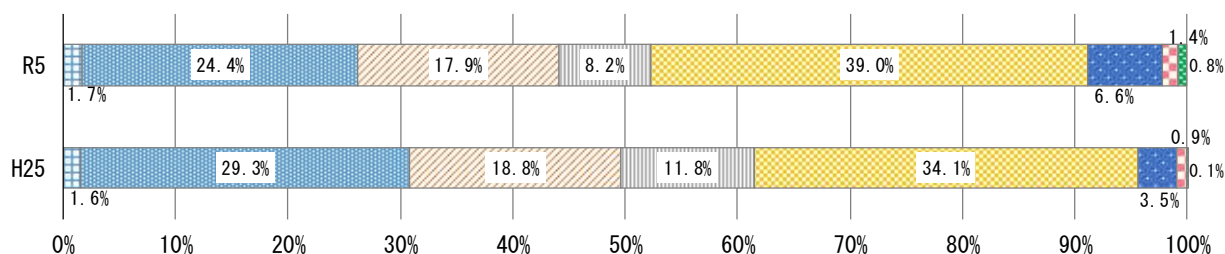
○中学生、中学生保護者に対して、学習したい学科を「総合学科」と答えた理由として、両者とも「教科・科目の選択の自由度が高く、自分の進路や好みに応じて自分で時間割を作成することができるから」が最多。次いで「将来の進路を迷っており、総合学科でいろいろな分野を学習して決めたいと考えたから」となっている。



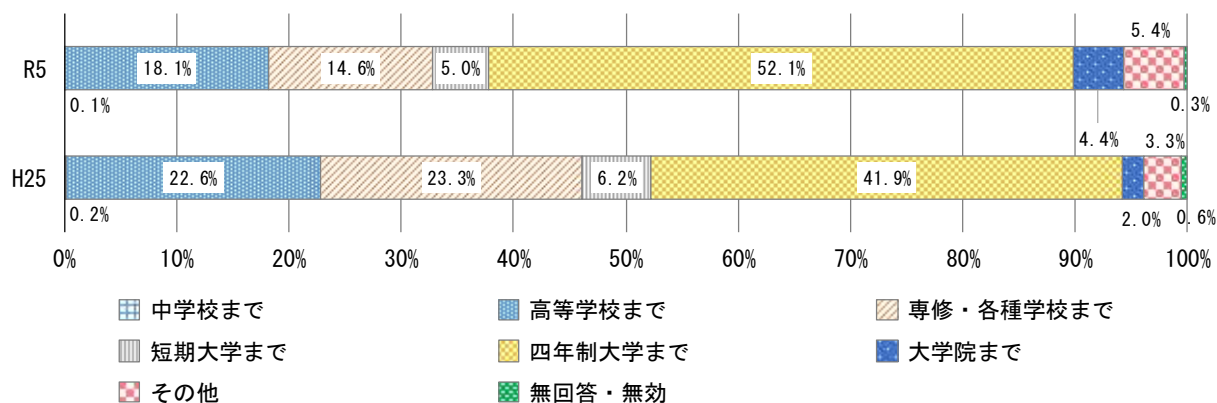
## 5 希望する学歴

○中学生の約75%、高校生の約70%が高校卒業後の進学を希望。中学生保護者、高校生保護者の約80%が、子どもの進学を希望。前回調査より中学生、中学生保護者、高校生、高校生保護者の全てにおいて、「四年制大学まで」の割合が上昇。

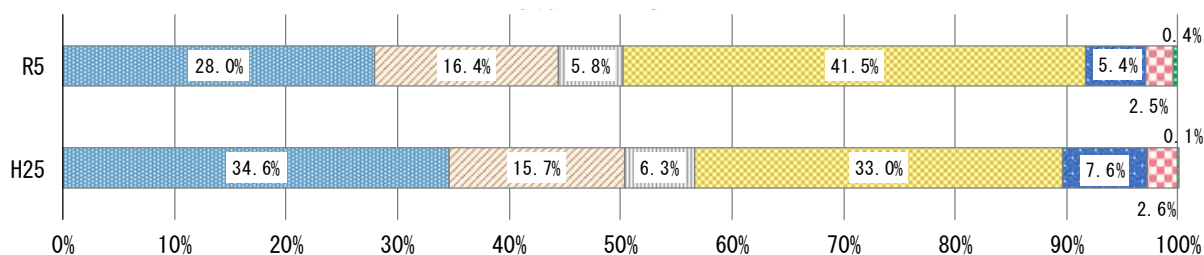
### 【中学生】



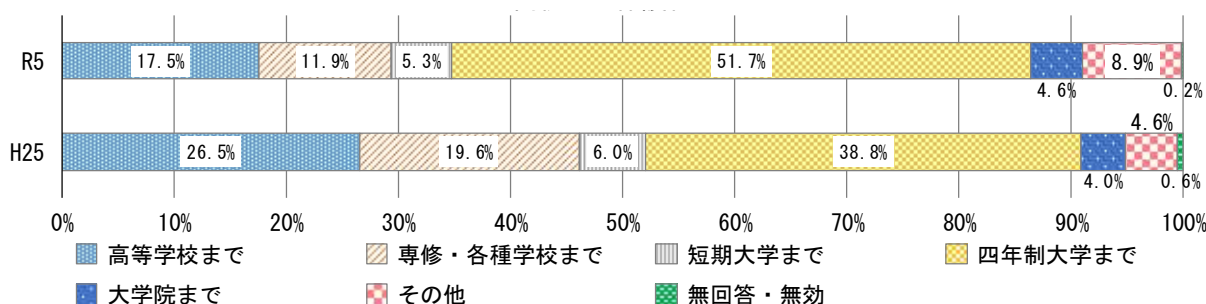
### 【中学生保護者】



### 【高校生】

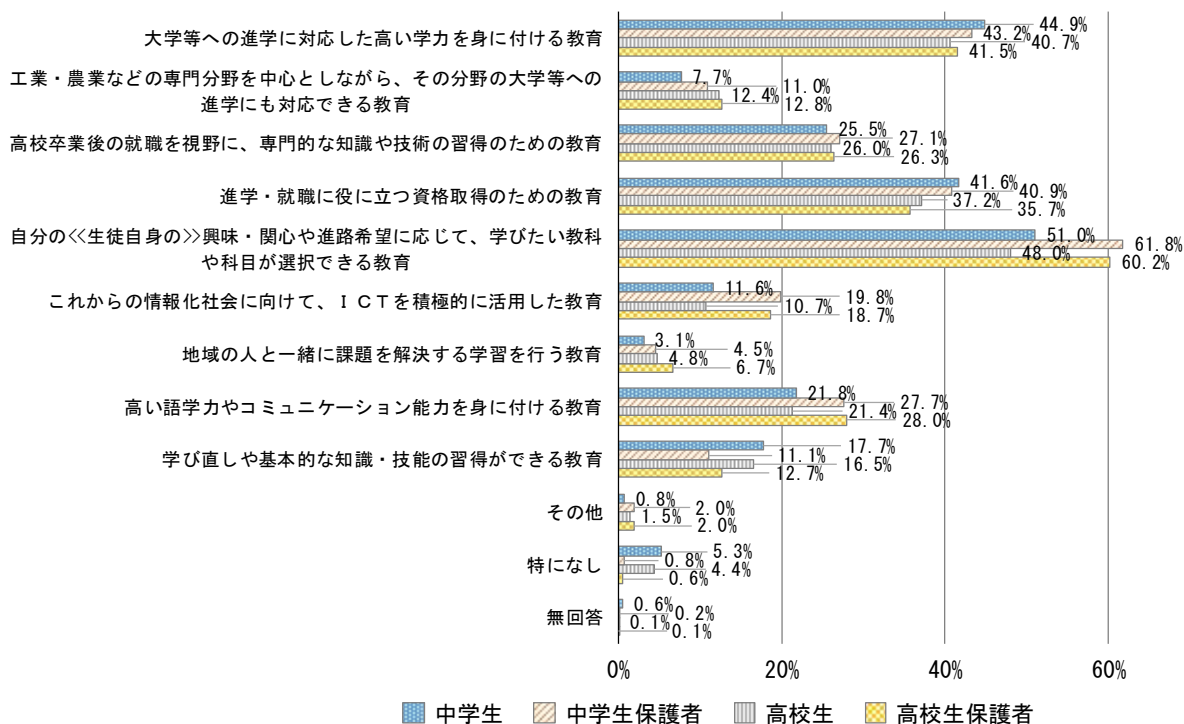


### 【高校生保護者】

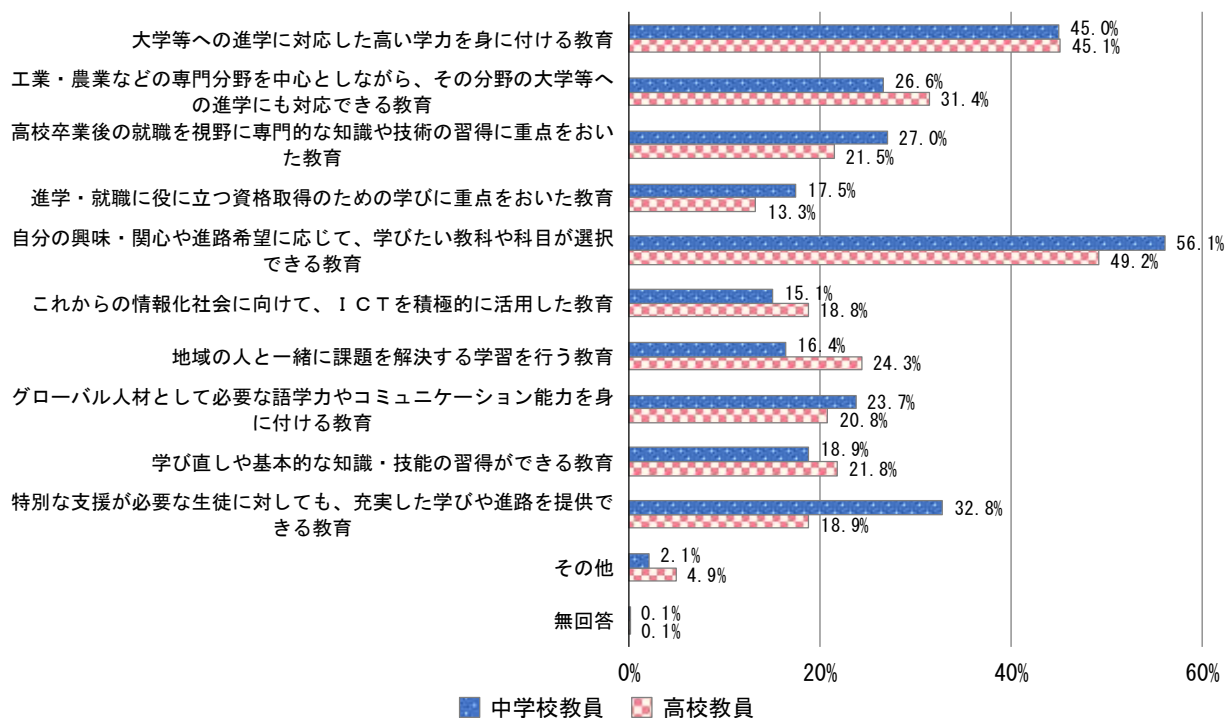


## 6 高校の教育に望むこと

- 中学生、中学生保護者、高校生、高校生保護者は、「興味・関心や進路希望に応じて、学びたい教科や科目が選択できる教育」が最多。次いで、「大学等への進学に対応した高い学力を身に付ける教育」「進学・就職に役に立つ資格取得のための教育」となっている。
- 中学校教員、高校教員は「興味・関心や進路希望に応じて、学びたい教科や科目が選択できる教育」「大学等への進学に対応した高い学力を身に付ける教育」の順となっている。

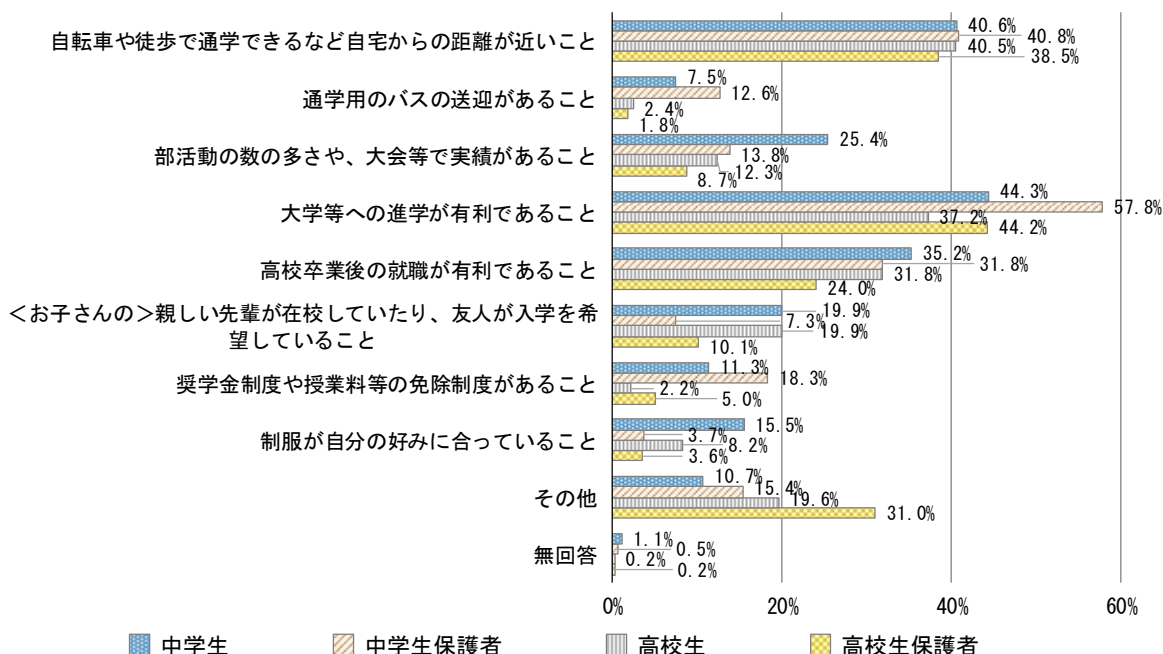


※<< >>は、保護者に対する調査の設問



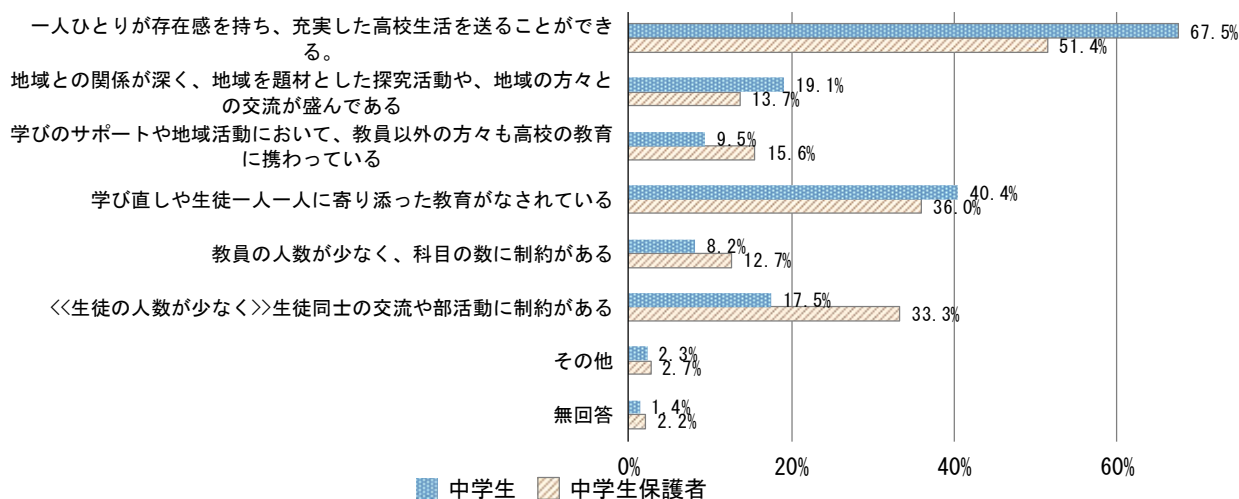
## 7 高校を選ぶときに重視すること（したこと）

- 中学生、中学生保護者、高校生保護者は、「大学等への進学が有利であること」が最多。次いで「自転車や徒歩で通学できるなど自宅から距離が近いこと」が多い。
- 高校生は「自転車や徒歩で通学できるなど自宅から距離が近いこと」が最多。次いで進学・就職に有利であることが多い。



## 8 規模の小さい高校の印象

- 中学校、中学生保護者ともに、「一人ひとりが存在感を持ち、充実した高校生活を送ることができる」が最多。

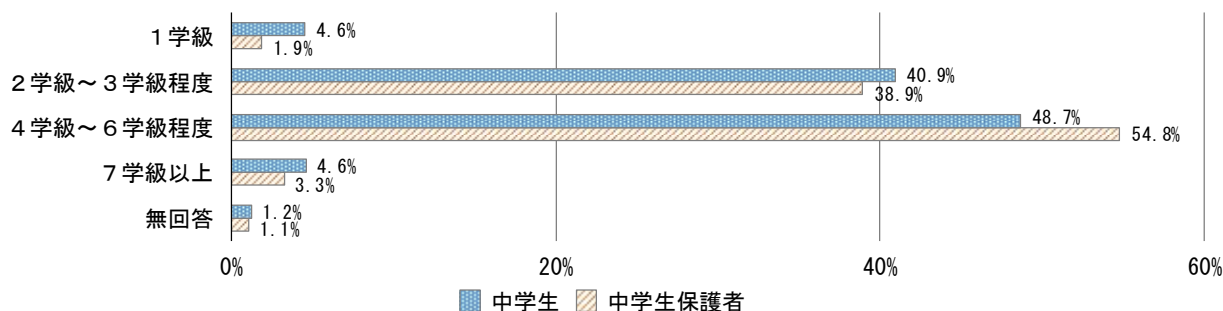


※<< >>は、保護者に対する調査の設問

## 9 望ましい学校の規模

- 中学校、中学生保護者ともに希望する学校規模は、約50%が「4学級から6学級程度」が最多。
- 高校生、高校生保護者ともに「学習面でも学校生活面でも、今の規模が適正と考えるため、現状のままでよい」が最多。

### 【中学生・中学生保護者】



### 【高校生・高校生保護者】

